



ふかがい たか し

◆診療科紹介 泌尿器科 深貝 隆志

泌尿器科は昭和大学江東豊洲病院の開院に伴い、外科系診療センターの一部門としてスタートしました。当科のメンバーは開院時の深貝、森田、五十嵐、林の4名に加え2014年10月から古敷谷が加わり現在常勤医師5名、その内4名が泌尿器科専門医という充実したメンバーで診療に当たっております。

泌尿器疾患には前立腺癌、膀胱癌、腎癌を中心とした尿路悪性腫瘍、また良性疾患としては前立腺肥大症を中心とした排尿障害、強い疼痛を主訴に来院する尿路結石、さらにEDなどの男性機能障害、尿失禁を代表する女性泌尿器など幅広い領域があり、当院ではいずれの病状、疾患にも対応しております。

当科の特徴は尿路悪性腫瘍の治療、特に前立腺癌の治療を得意としていることにあります。前立腺癌は高齢化社会に伴い非常に増えており、厚生労働省の予測でも男性の癌では2015年（本年）胃癌を抜いて最も多くなる事が予想されております。我々は江東豊洲病院の開院以前は、品川にある昭和大学病院で前立腺癌治療、特に日本でトップ



左から3人目 深貝教授

第17号のトピックス

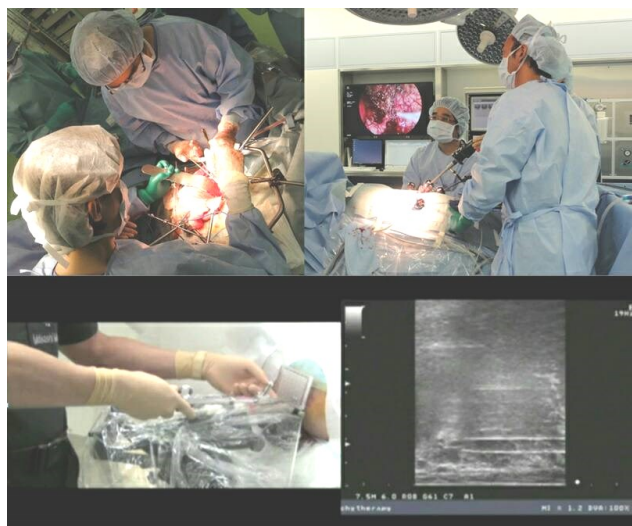
- 診療科紹介
 - 泌尿器科—
 - 眼科—
- 部門紹介
 - 医療安全管理室—



クラスの治療数を誇る小線源治療、さらに最新治療であるロボット手術を立ち上げたチームがそのまま移動してきました。江東豊洲病院でも前立腺癌治療の体制を整えており2015年8月からは小線源治療を開始しすでに30人近い患者さんが治療を予約している状態です。さらにロボット手術の希望患者さんも昭和大学病院と連携して我々が手術をする体制をとっており、患者さんの幅広いニーズにも対応し満足していただける治療を提供できると確信しております。

また当院のもう一つの特徴としては内視鏡手術を得意としていることにあります。腎腫瘍、副腎腫瘍に対しては大部分の症例で腹腔鏡手術で対応可能です。また前立腺肥大症に対しては標準的な経尿道的前立腺切除術（TUR-P）に加え経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を導入し、大きい前立腺肥大症に対しても少ない出血での手術を可能にしております。さらに当院は二次救急に対応していることにより尿路結石が非常に多いのが特徴です。この尿路結石に対しては効率よく結石を破砕する内視鏡による碎石術を得意としており、排石困難な症例に対しても良好な治療成果を挙げ、患者さんやご紹介いただいた先生にも満足いただいていると自負しております。

このような診療体制をもとに近隣の先生方と密な連携を取りながら地域の医療にも貢献したいと考えております。何かありましたらいつでもご相談、連絡をいただければと思いますのでなにとぞよろしくお願い申し上げます。



ささもと たけひろ

◆診療科紹介 眼科 笹元 威宏

江東豊洲病院が開院し、1年半が経過しようとしています。現在、開院当初の混乱も落ち着き、ようやく軌道に乗ってきているように感じます。開院当初は、入院病床数が少なく、ご近隣の先生方にご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。

現在、眼科は常勤医師5名（うち眼科学会認定専門医 4名）に、非常勤講師1名（眼科学会認定専門医）、非常勤医師1名（眼科学会認定専門医）、視能訓練士は4名の体制で診療を行っております。

外来は土日も外来を閉鎖することなく基本的には毎日診療しております。外来は基本的には予約制ですが、随時急患は受診可能です。外来の休診は、創立記念日（11月15日）および年末年始です。土曜日、日曜日の診療は今後、非常勤の先生にもお願いして、今後も診療体制を維持していく予定です。

手術体制は火曜日と木曜日に定期手術枠があり、白内障、網膜硝子体手術に特に力をいれています。今年の5月から定期手術枠が1.5日/週から2日/週へと増加しました。別表の統計は2014年4月～2015年4月までですが、5月は75件、6月は96件、7月は87件の手術件数となっています。本年7月より網膜硝子体手術の最新鋭の器械（コンステレーション®ビジョンシステム Alcon社）が導入され、網膜硝子体手術の術中、術後合併症のリスクを軽減が可能になってきました。網膜硝子体疾患の患者様もより一層ご紹介いただけますと幸いです。手術室では、高い集中力を保てる環境に整備しています。白内障手術は日帰り手術、入院手術の両方に対応しています。チン小帯脆弱例や過熟白内障、水晶体亜脱臼などの難症例の白内障手術も行っています。

眼は感覚器として非常に重要な部分を占めています。われわれスタッフ一同、患者様の視機能の維持を使命とし、今後の精進をしていく所存であります。

眼科スタッフ

医師(常勤)



笹元 威宏



長谷川 裕基



田中 楢子



塚越 美奈



上條 由美

医師(非常勤)



小池 昇



鈴木 誠一

視能訓練士



三方 修



糸日谷 昭子



高野 夏奈

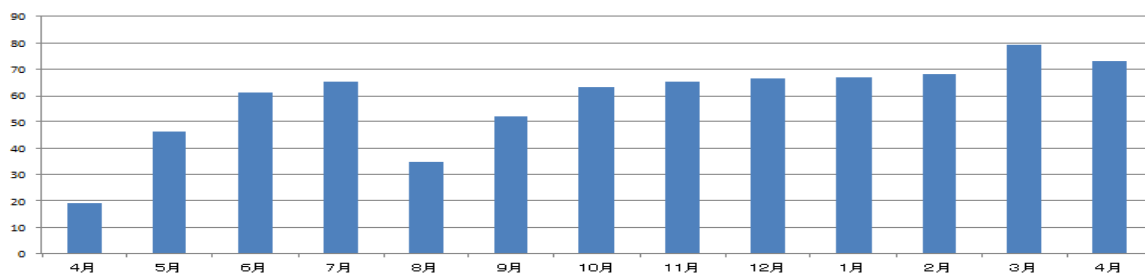


東谷 奈菜子



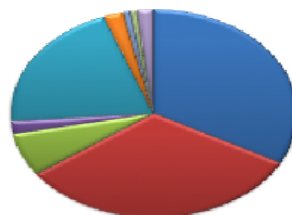
手術室

昭和大学江東豊洲病院眼科 月別手術件数
2014年4月～2015年4月



《2014年度 手術統計》	件数
白内障手術(日帰り)	244
白内障手術(入院)	250
硝子体手術	51
網膜復位術	15
硝子体注射	156
眼瞼下垂手術	17
眼瞼内反症手術	6
翼状片切除	5
斜視手術	1
その他	14
合計	759

手術内訳



- 外来白内障
- 入院白内障
- 硝子体手術
- 網膜復位術
- 硝子体注射
- 眼瞼下垂
- 内反症
- 斜視
- 翼状片
- その他

◆部門紹介 医療安全管理室 小市 佳代子

「医療安全管理室」は副院長を室長とした、13名の多職種混合チームです。病院長の直轄で医療安全管理委員会と連携し、医療の質の向上を目指し、医療事故の防止と医療の安全性を確保するために必要な指導や、安全対策の推進などの活動を行っています。

医療は年々高度化、専門化、複雑化してきています。また、医療は予測できない経過が発生することがあり、本質的に不確実です。そもそも人間は誰でもミスをしますが、失敗することで学び、成長します。しかし、一人の間違いが、簡単に患者に大きな影響を与えてしまうこともあります。そこで組織として間違えを防ぐ努力が大切です。チームの力で間違えを防ぐためには、お互いに敬意を払い、尊重し合えることが重要です。自分や自分以外のエラーに気付き、声を発すること、耳を傾けて立ち止まることでエラーの回避や、低減につながります。昭和大学江東豊洲病院の理念に、「安全・安心の医療」と掲げています。組織全体で一致団結して患者安全に取り組んでいきたいと思えます。



前列左から3番目 小市師長

お お む ら め ぐ み

編集後記 大村 恵

今年の夏は、花火大会に出かけましたか？私がこの原稿を書いている翌日、東京湾大華火祭が開催されます。東京の夏の風物詩として愛され続けたこの花火大会は、1988年に開始後、今年で27回目となりますが、今年で見納めとの噂も。昨年は天候の都合で中止だったため、豊洲会場から観る花火は残念ながら最初で最後となるかもしれませんね。今のところ、天気予報は晴れ。みなさんに良き夏の思い出が出来たことを祈ります。